



放射線量は自分で計算、母国政府に帰国策の提案

Roshan MAHABIR (ローシャン・マハビア) さん

 トリニダード・トバゴ共和国出身
医学研究科 博士課程3年

震災後、さまざまな情報が素早く公開されたことに驚きました。そのデータから、医師としての知識を活かして自分で放射線量を計算できたので、すぐに札幌は問題ないと確信しました。計算した数値をFacebookに公開して、母国の家族や友人、そして札幌の留学生仲間に伝えました。私自身の帰国は全く考えませんでした。母国政府は状況を把握できていなかったため、日本にいるトリニ

ダード・トバゴ人を自分が取りまとめ、日本からの帰国方法を政府に提案するなど調整役を務めていました。

母国では毎年洪水が発生して死者が出ますが、政府は対策を講じることはありません。それに比べて日本人が災害から学び、次に活かす姿勢に感心します。私は今後、日本でどんな災害があったとしても、母国に戻るよりも留まる方が安全だと思っています。

世界から見た3.11


北海道大学には各国からの研究者、留学生、計1450人*が在籍しています。母国から遠く離れた日本で体験した震災、原発事故など、日々変わる情報に彼らは何を思い、どう行動したのでしょうか。バックグラウンドの異なる彼らだからこそ見たものは何なのか、3.11を経て現在も北海道大学で研究を続ける5人の方々に話を聞きました。

* 2011年11月1日現在(留学生センターホームページより)



裏目に出た日本らしさ

Bastien LIATARD (バスチャン・リアター) さん

 フランス出身
公共政策大学院 修士課程1年

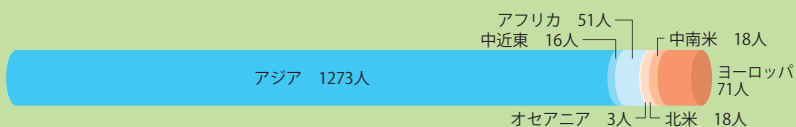
原子力の研究施設がある町で育ち、量子力学を専攻した僕にとって、原子力は身近なものなので根拠もなく恐怖を感じることはありません。原発が一番とは思いますが、フランスは長年この分野に投資しているので、いまやめるといった判断は難しいと思います。

千年に一度の災害というなら、前例がないのですから、思い切った革新的な対応をなぜしないのか、そこに疑問

を感じます。みんなが満足するやり方を探すばかりに決断が遅れるところが日本らしいですね。

授業でも震災が頻繁に取り上げられますが、参考文献を見ても専門家の意見が「日本から見た日本」で完結していることが気になります。「海外には日本のことはわからない」と閉じている印象が否めません。もっと視点を広げてほしいと思います。

北大留学生
出身地域別人数





母国は革命、日本は災害

Ayman EL-SAYED (アイマン・エルサイエド) さん



エジプト出身
薬学研究院 博士研究員

原発事故直後は情報が氾濫して不安でした。必要な物が揃わず、研究にも専念できずにいたので、震災の日本か、革命のエジプトか迷いましたが、休暇制度を利用して3月22日から4月22日まで帰国しました。

日本は人口も地震も多いから原発はリスクが大きいですね。エジプトは風力発電に力を入れていて、原発はありません。もし造ったとしても砂漠ならば人がいないの

でリスクは少ないでしょう。日本は安全に対する意識が高く、優れた技術力もあります。海や太陽光など豊かな自然条件を活かして、再生可能エネルギー研究の分野で世界のリーダーになってほしいです。

私の研究分野ならアメリカなど他の国に移る選択もありましたが、大好きな日本に戻ってきました。その後結婚し妻を札幌に呼び、日本での生活を楽しんでます。



先進国なのに遅い、復興への対応のスピード

OU Wei (オウ・ウェイ) さん



中国出身
環境科学院 博士課程2年

私の出身地は自然災害が少なく、地震も津波も経験がありませんでした。しかしこの震災では、自分も揺れを経験し、研究室に被災地出身の人がいるので他人事とは思えませんでした。研究に専念したい時期でしたが、心配する両親のために震災直後4週間ほど帰国しました。その間ニュースや友人から情報を得ていましたが、日本は復興への対応が遅いと感じました。政府が被災者の

ニーズを汲み取って素早く対応すれば、国民の信頼を得られると思うからです。こうした対応は、政府から軍へと命令系統が確立している中国の方が早いと思います。

節電と言いながら日本は昼間でも照明がついて無駄が多いと思います。中国の大学では、キャンパスの外灯に学生が開発した太陽光ライトが使われていました。北大でもぜひ取り入れてほしいです。



私が帰国しなかった理由

Sergey GRABOVSKY (セルゲイ・グラボフスキー) さん



ロシア出身
理学部 物理学科 理数科応援プロジェクトコーディネーター

私は日本政府の対応は迅速で冷静だったと評価しています。被害は甚大ですが、もし日本でなければ、もっと被害は大きくなっていただいでしょう。原発事故後も、科学者の私はデータから札幌が安全だとすぐわかりましたので帰国しませんでした。ロシアでは天然ガスが豊富で電気代も日本の10分の1程度と安く、他のエネルギー利用は考えられていません。でも資源の少ない日本では原子力

を完全に排除するのは難しいと思います。

私は、礼儀正しくて、コミュニケーション力が高い日本人に強く惹かれています。被災地のボランティアに行こうとしましたが、日本語の勉強を始めたばかりで、受入れ団体が見つかりませんでした。外国人一人でも参加できるように、行政や大学でツアーのようなものを企画してくれたらすぐにも参加したいです。

北大留学生の所属

学部 280人

大学院 1119人

研究所等
51人